

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-465
評価技術名称					連絡先			
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.			
真壁「押入」アルミ材下地					〒			
					電話		Fax	
概要	技術概要				床、天井間のみをアルミアングルと構造用合板で補強する工法。			
	技術の特徴				コスト			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>土壁・天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。</li> <li>真壁の仕上がりで補強が可能。</li> <li>壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。</li> </ul>				サンプル構面 35,181 円/kN 設計見積り例 —			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関			
機関名					名古屋工業大学			
評価番号					その他			
評価取得日								
仕様	適用範囲				写真・図			
	構法		木造在来軸組工法					
	規模		3階建て以下					
	基礎、地盤		特になし					
	適用部位		内外壁					
	その他		特になし					
	主要構成部材の仕様							
	構造用合板 厚 12mm 以上 タッピングビス φ3×L30、木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、セルフドリルネジ φ4×L30 のいずれか @100mm 以下、川の字打ち アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの 木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、先孔 φ3 アングル角部を斜め打ち、@100mm 以下							
	耐震性能							
	評価仕様:アルミアングル下地 真壁仕様							
壁基準耐力		壁基準剛性						
2.08kN/m		292kN/rad./m						
A-111 からの低減係数 α = 0.4								
壁基準耐力 5.2×0.4=2.08								
設計方法								
①柱接合部による低減								
取付部分が健全であること								
②劣化による低減								
取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
その他								
H28 年度 ビスの種類追加								